



高輪だより

令和7年度1月号
港区立高輪幼稚園
園長 佐々木勝世

わくわく ぽかぽか
みんなえがおの
たかなわようちえん



祝！開園50周年

園長 佐々木 勝世

あけましておめでとうございます。令和8年、2026年が始まりました。これまで繰り返しお伝えしてきたとおり、今年2月10日の開園記念日（開園記念行事は1月24日に実施）をもって高輪幼稚園は50周年を迎えます。これまで本園の発展にご尽力くださいましたすべての方に感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、園内では12月に園長から子どもたちに、改めて周年についての話をしました。クイズ形式で50年間の歴史を振り返り、子どもたちなりに自分たちの幼稚園について知ることができる機会としました。開園時の園庭にはブランコがあったこと、開園2年目には200名を超える園児がいたことなどを知り、子どもたちは驚いていました。5歳児には11月のうちに、園の代表として式典に出てもらいたいこと、お祝いのパーティーをしたいので、どんなパーティーにしたらいいかを考えてほしいことを依頼していました。5歳児はその後、さっそく先生や友達と話し合いをしました。高輪幼稚園の素敵なおところとして、実のなる木がたくさんあって自然が豊かなことを伝えたい。自分たちが今楽しんでいる遊びを紹介したい。幼稚園のみんなと一緒にダンスをしたい。など、たくさんのアイデアが出されました。記念行事当日のお祝いパーティーでは、これらのアイデアを基に子どもたちが高輪幼稚園のよさをお客様に伝えてくれる予定です。

また、園内の壁面などにも、50周年を祝う雰囲気盛り上げるような子どもたちの作品を掲示していきます。そして、実行委員を中心として、保護者の皆様、地域の皆様にもたくさんのアイデアとお力を発揮していただき、準備が進んでいます。園児と教職員、保護者、地域の皆様が一体となって歩いていく『本園のよさ』を体現した周年行事となることを楽しみにしています。

さて今年は何年です。一説によれば何年は「物事が『うま』くいく」「飛躍する」「活力がみなぎる」といった、とてもポジティブな意味が込められている年だそうです。馬の「跳ねる」「駆け抜ける」といった姿は前向きなイメージを連想させます。高輪幼稚園も1月の周年行事をジャンプ台にして、さらに大きく飛躍する一年となるよう教職員一同励んでまいります！



スライドで、子どもたちに50年の歴史を紹介しました。



保護者のご協力をいただいてもちつきをして、新しい年を迎える準備をしました。



大掃除も子どもたちが自分たちでしました。

高輪幼稚園では、子どもたちの生活の様子や、その中にある「学び」について、積極的に発信しています！

【ホームページ】 <https://takanawa-kg.minato-tky.ed.jp>

【X (エックス)】 <https://x.com/takanawakg>



ホームページ



X エックス